

有限会社藤本米穀店 <https://fujimotobeikoku.com/>

「雲南地域のコメを台湾へ輸出」

＜事業者の概要＞

1. 所在地：島根県松江市東本町三丁目18
2. 代表者：代表取締役社長 藤本 真由
3. 主な品目：コメ（コシヒカリ、つや姫）
4. 主な輸出先国・地域：台湾
5. 事業概要：コメ販売、コメ加工品販売、加工食品販売



輸出コメ商品



台湾での展示会の様子

【輸出の取組内容】

- 雲南市からの要請があり、2011年から日本産米の実績がある台湾の食品会社「鼎三（ていさん）」と提携し輸出。
- 雲南市の良質なコシヒカリ生産地である宇山地域及び菅谷地域（標高400m～450m前後）のコシヒカリを使い「うやま米」「皇室献上米」として輸出。つや姫は雲南市産の独自プレミアム基準をクリアした「プレミアム つや姫 たたら姫米」として輸出。
- 現在の輸出量は年間約2トン（精米）で内訳は、「うやま米（2キロ袋）」約0.5トン、「皇室献上米（1キロ袋）」約1トン、「プレミアム つや姫たたら姫米（2キロ袋）」約0.5トン。
- 台湾での販売促進を定期的に実施。

【取組経緯】

- 雲南市から地域の水田農業の活性化を図るため台湾へ輸出の要請。
- 自社のコメ販売事業の展開と地域の持続的なコメ生産を結び付け、高品質な原料確保を図っている。

【課題と対応方法】

- 輸出関連事務の簡素化
→輸出手続きや代金精算事務の簡素化のため、「鼎三（ていさん）」の国内子会社「ライメックスジャパン」を通じ、台湾の大手百貨店で販売。
- ブランド構築と消費需要変化への対応
→輸出来のブランドイメージ定着のため販売促進を行っているが、消費ニーズの変化に伴い、ニーズに対応する高品質な新たな銘柄に変更。
- 販売促進フェア開催後の課題整理及び交流
→台湾での販売フェア参加後に反省会を開催し、販売上の課題を整理して翌年度に反映。また、産地間交流は、更に深化し、文化交流まで発展。
- 経費負担
→負担軽減のため、最小人員の派遣、手数料・運送費の検討・見直しを実施。

【今後の事業展開】

- ✓ 台湾市場の開拓を狙う国内の他産地との競争力強化のため、現地販売会を複数回開催し訴求力を高める。
- ✓ 引き続き、輸出量の拡大を目指すために、地域の農業者等と連携した高品質なコメの確保に万全を期す。

【実績】

輸出額（万円）		輸出国・地域割合（%）	
2020年	87	台湾	100
2021年	84		
2022年	83		